

平成 30 年 4 月 27 日

## 近畿本部経営工学部会平成 30 年 4 月度 定例部会(研修会+総会)議事録

開催日時:平成 30 年(2018 年)4 月 21 日(土) 13:30~17:10

開催場所:公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 会議室

出席者:27 名

司会進行:司会進行 幹事 萩野新 村島繁延 (以下敬称略)

配布資料: ①平成 30 年 4 月度 部会・研修会・総会 議事進行表

②例会出欠表

③研修会講演配布資料(浅野昌也 技術士(化学部門、総監))

④2017 年度近畿本部/経営工学部会の活動報告

⑤2018 年度近畿本部/経営工学部会の活動について

⑥近畿本部 経営工学部会平成 29 年度収支報告書

⑦CPD行事参加票

⑧(参考資料)平成 29 年度第 6 回理事会の概要

初参加者:木村桂吾(経営工学部門)、楠田和彦(応用理学部門)、楠田貴康(経営工学部門)、  
渡部正人(経営工学部門) 4 名

## 1. 研修会

(13:30~16:15)

## (1) 開会挨拶(間島部会長)

今年の経営工学部門の合格者は多数となった。(合格率では 29%) 部門別では高いほうである。今後の活躍を期待したい。次に、関西中小企業の経営手法の改善について2つの話をする。最近の動きとして IoT が盛んになってきたことや経営工学が得意とする「見える化」手法と連携した企業の動きである。今後注目していきたい。



## (2) 講演

講演者: 浅野 昌也 (あさの まさや) 技術士(化学・総監)、博士(工学)

近畿大学大学院総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻 客員教授

・演題: 『日本の化学産業の生き残り戦略』

・概要: 化学産業をアーキテクチャー論から大別すると、モジュラー的な石油化学製品と擦り合わせ的な機能性化学品に分けられる。前者においては、石油化学部門の再編と縮小を図りコスト競争力を向上させることが重要であり、一方、後者においては、電子・情報機器の技術革新や自動車の電動化、自動運転、環境問題などの先端分野の製品開発を進めることが重要になる。本講演では、講師の企業(東レ)での経験を踏まえて、後者について 2、3 の事例を用いて説明する。

- 休憩(16:15~16:20) -

## 2. 総会

(16:20~16:40)

## (1) 29年度活動報告

間島部会長から配布資料に基づき平成29年度活動報告  
池田会計幹事から同会計報告  
小木曾監査役幹事から同監査報告

## (2) 30年度の活動について

活動内容の説明と併せて、継続の役員体制の説明を行った。

## 3. 日本技術士会及び近畿本部からの予定連絡

(16:40~17:00)

- ①2018/5/12(土) 第2回 修習技術者支援セミナー(技術士を目指そう)
- ②2018/5/26(土) 近畿本部/幹部会議
- ③2018/6/2(土) 近畿本部/業務研修会
- ④2018/6/9(土) 近畿本部/情報化セミナー
- ⑤2018/6/23(土) 近畿本部/年次大会

## 4. 日本技術士会 近畿本部からの活動実績報告

- ①2018/2/24(土) 近畿本部 技術士第1次試験合格者祝賀会  
(大阪科学技術センター)
- ②2018/4/14(土) 近畿本部 技術士第2次試験合格者祝賀会  
(大阪科学技術センター)

## 5. 近畿本部 経営工学部会の活動予定

- ①2018/6/16(土) 13:30-  
6月度「部会+研修会」+新会員歓迎会
- ②2018/6/8(金)~9(土)  
業務研究会との合同宿泊研修会(四国方面の企業見学を予定)

## 6. 自由発言・幹事会報告・その他

(17:00~17:10)

- ・6月度の講演者は決まっている。8月度の予定として、昨年入会の山口先生にお願いしたい。(了解いただいた)
- ・研修だけでなく、トピックス的なキーワードでショートレクチュアを次回から実施したい。

## 7. 閉会の挨拶(村島)

今回は4名の方が初参加された。今後も積極的に参加、発表に活躍されたい。又、今回研修の労をとっていただいた浅野先生に再度謝辞の念を表したい。企業が成長していくには、単に技術力だけでなく、擦り合わせ技術のように多方面との協力が必要で、経営戦略からの視点がより一層求められるという点で大いに参考になるご講演であったと思う。

次回には新会員歓迎会も予定されているようなので、積極的な参加をお願いしたい。

以上(文責:村島繁延)